

人間社会の仕組みについての批判的な考察など、読む側が人間や社会の新しい見方を教えられて胸が躍る、というような内容のものはありません。

世俗的な時事論文や、資本家に更に富を重ねるようになり、日本のアジア侵略を煽り立てる論文、などが多くを占めています。面白くもないし、知的に刺激を受けるといふこともありません。何か事情があつて、とにかくひどく退屈な思いをしたいと思う方は読むと良いでしょう。

とは言え、福沢諭吉は忘れて良い人間ではありません。私はこの文章の最初に、人々は福沢諭吉については興味を抱いていないと書きましたが、福沢諭吉が社会に与え続けている影響力については真剣に考えなければいけない、と思います。

現代社会の人々は一万円札の肖像の福沢諭吉を最早当然の存在として捉え、既に決まったことだからいまさら福沢諭吉のことを考えてどうなるものでもないだろう、と思ひこんでいるから、福沢諭吉に興味を示さないのです。

現在日本では、平成天皇が退位の意志を示したあ

と、天皇の代替わりがお祭り騒ぎになるのではないかとと思われる動きをしています。

安倍晋三首相が憲法改正を果たそうとしている、この時期にです。

森友学園問題、加計学園問題、自衛隊のイラク日報問題、などで安倍晋三内閣は大きく揺らいでいますが、二〇一八年五月二〇日現在持ちこたえており、このまま内閣を維持し続けることが出来るようです。

天皇の代替わり騒ぎと北朝鮮問題が、安倍晋三首相が首相の座に留まり続けるのを助けているように思えます。

そこで、憲法改正に成功したら、天皇は帝国憲法下の天皇に近づき、再び福沢諭吉の「帝室論」「尊王論」が戻って来るでしょう。

私達は福沢諭吉の社会に対する影響力を忘れてはならないと思います。

福沢諭吉は思想家とは言えず、退屈な時事論文を書き続けた人間ですがその影響力は大きいのです。

私達はやはり福沢諭吉から目を離してはならない。

外務省（日本政府）の「竹島」主張はフェイク（嘘）だらけ!?

増田都子

1、はじめに

私は東京都の公立中学校の社会科教員でした。教員歴33年目の2006年3月31日、石原慎太郎配下の都教委によって「公務員不適格」として分限免職されました。それは、ノ・ムヒョン大統領の05年3・

1演説を教材にして、侵略と植民地支配の過去を持つ日本が本当に韓国と和解するためにはどうしたらいいか、授業で生徒に考えさせたからです。その中で関連して、都教委や右翼都議が大好きな扶桑社教科書（後継が育鵬社教科書）は「日本の侵略戦争を自衛の戦争と書く『歴史偽造』の教科書です。」と事実を教えたのです。それをもって「検定済教科書と都議に対する誹謗を生徒に教えた。」と「東京都教職員研修センター」と称する教員ラーゲリに隔離収容・軟禁され、6カ月の間、四六時中「反省」を強要されま

した。で、「反省すべきは私ではなく、歴史偽造の扶桑社教科書を教師や市民の反対を無視して採択した都教委である。」と主張したので「反省しないため、改善の見込み無し。公務員不適格」というのです。詳細は、ぜひ『たたかう！ 社会科教師』（社会批判社）のご購読を！

国内では産経新聞が「やっとな偏向教師が首になつた」という報道をしてくれた以外は、ほとんど報道されなかったのですが「ノ大統領演説を紹介し、扶桑社教科書を批判した教師が免職された」ということで、韓国では大きく報道され、たくさんの方をいただきました。中でもノ大統領の同志だった方が主宰される釜山の市民団体とは現在でも交流が続き「この夏、ぜひ『日本の竹島教育』の現状について話してほしい」というリクエストをいただきました。

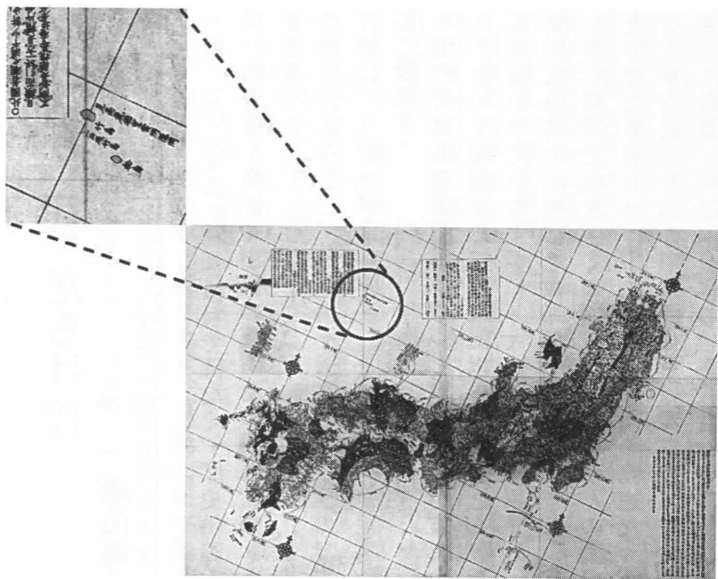
2、外務省（日本政府）HPにある竹島（韓国名：独島）についてのフェイク主張！

そこで、ネットなどで「竹島授業」について指導案などを検索してみました。ヒット数は少ないのですが、やはり、日本政府の主張そのままを教えている（教え込んでいる）のです。教員たちが、授業で資料として生徒たちに配布しているのは、ほとんどが外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/takeshima/g/kinshi.html> に掲載されている「日本の領土をめぐる情勢『竹島』」からとったものでした。

一例を挙げますと「竹島の認知」として「経緯線を投影した刊行日本図として最も代表的な長久保赤水（ながくほせきすい）の『改正日本輿地路程（よちろてい）全図』（1779年初版）のほか、鬱陵島と竹島を朝鮮半島と隠岐諸島との間に確に記載している地図は多数存在します。」とし、明治大学図書館所蔵の弘化3年（1846年）の地図を載せています。

確かに、これには竹嶋（現：鬱陵島）・松嶋（現：竹嶋＝独島）を隠岐と同じ黄色で着色しており、経緯線もあります。で、教員たちは生徒たちに「ね、江戸時

代から、竹島は日本の領土だったんだよ」と教えるわけです。



そこで、私は明大図書館に行つて、原図を確認しようと思ひ立ちました。ところが「卒業生でもない一般市民には、その近くの図書館の紹介状が無いと図書館に入れない」というのです。

で、何か、簡単に入れるテはないか？「そうだ、安川寿之輔さんは大学の先生だから何かツテがあるかも」と思ひ相談しましたら、彼の大ファンの明大卒業生を紹介してくれました。そこで、卒業生の方の後ろに隠れて入れるかな（笑）と思ひましたが、そんなに甘くなく、やはり、私の居住地の市民図書館に紹介状を書いてもらいました。発行まで1週間くらい：心細いので明大卒業生の方にも一緒に行つていただき助けてもらいました。お一人には感謝！

そして、調べてビックリ！明大図書館蔵の「改正日本輿地路程全圖」は全部で17枚もあったのです。そのうちの2枚だけが外務省HPに載せてある弘化3（1846）年のもので、あとの15枚のうち、全体着色なしのもの、つまり、竹島・松嶋の所属は不明の2枚を除くと、残りの13枚は竹嶋（現：鬱陵島）・松嶋（現：竹嶋＝独島）の部分には緯度経度を入れず、朝鮮と同じ白色にしており、しかも、そのうち4枚には

「官許」という文字が記載されていました。

つまり、同HPに載っている赤水地図は「官許」江戸幕府の許可」の無いもので、海賊版なわけです。どちらを採用するべきか、常識的判断力があればすぐわかるのですが、普通の人＝普通の教員は「外務省HPに載っている」ということで信用してしまいます。それで、教員はこの海賊版「改正日本輿地路程全圖」を生徒に見せて「ほらね、江戸時代から日本のものであったんだよ。なのに、今は韓国が不法占拠してるんだよ。」と教えるのです。当然、生徒は「韓国って悪い国だ」「江戸時代から日本のものであるから、日本に返してもらいたい」「韓国が嫌いになった」となるのです…。

同HPに記載の「長久保赤水の『改正日本輿地路程全図』（1779年初版）」については、弘化3（1846）年のものと同じく現在の鬱陵島・竹島を隠岐と同じ黄色で着色しており、経緯線もありますが、実は赤水は1791（寛政3）年に第2版を出しており（これが赤水による完成版）これは、両島を朝鮮と同じ白色にし、経緯線もありません。

外務省＝日本政府は「竹島は江戸時代から日本の

領土だった」という主張に反するものは、有るものを無かったことにするので。現在のアベ政権の公文書改竄・隠ぺいは「日本政府の伝統文化」でしょうか…。

3、外務省の名乗らずの担当者(職員たち)はシャーシャーとフェイク(嘘)を述べる!?

さらに私は外務省に電話しました。実は5〜6回電話したのですが、「竹島」担当者は席を常に外して、ついに出てきませんでした。電話に應對したその都度、違う人物に名前を聞いても「名前は名乗らないことになっている」とヌカシました(笑)。ラチがあかないので、途中から「さあ、私の質問をメモしてください。そして、必ず担当者に答えを聞いてメモしておいて、増田から電話がかかってきたら誰が出てそれを読んでくれるようにしといてくださいね。」と念を押しました。結局、電話をかけた始めてから2週間くらいたった本年4月11日、やっとこさ、以下のQ&Aが成立しました(笑)。

Q…外務省ホームページに「竹島の領有」において「我が国は、遅くとも江戸時代初期にあたる17世紀半ばには、竹島の領有権を確立しました。」とあるが、どこの藩の領地だったのか？ 天領だったのか？

A…どこの藩(の領地)というわけではなく、ウルン島への渡海権をもって竹島を利用して経緯があり、日常的に(渡海が)行われていたことを踏まえて17世紀半ばには領有権を確立していたと考えられる。

(一)内は増田

江戸時代、竹島⇨独島は「どこの藩(の領地)というわけではな」いし、天領⇨幕府直轄地でもないけど、漁師たちが「日常的に」行っていたので(これも真赤な嘘!)日本の領土と「確立していたと考えられる」から、「日本固有の領土なんだ」!?! と、日本外務省⇨日本政府は主張するのです。

江戸時代に、どこの藩の領地でもなく天領でもなければ、日本の領土なわけない、です。普通に判断力があれば、誰だって理解できると思うんですが…。

実は「竹島(独島)・ウルン島(鬱陵島)」については江戸時代に朝鮮政府と「領土紛争」が起き、江戸幕府は「元禄竹嶋一件」「天保竹嶋一件」と2度にわたり「日本の領土ではない」と宣言している事実があります(この「竹嶋」は現…鬱陵島)。

「元禄」については、漁に行っていたのは鳥取藩米子の商人たちだったので、幕府は鳥取藩の領地だと思っ同藩に質問し、その回答が残っています(鳥取県立博物館蔵)。

1695年12月24日付質問書(御尋の御書付)

「一 因州伯州に付けている竹嶋(鬱陵島)は、いつから両国に附属することになったのか。

一 竹嶋の外に因伯両州に附属する島はあるか。」

鳥取藩の翌12月25日付回答書

「一 竹嶋(鬱陵島)は因幡・伯耆の附属ではありません。

一 竹嶋 松嶋(現…竹島⇨独島) 外 両国(因幡・伯耆)の附属の島はありません。」

日本政府⇨外務省は、この文書を知っていますが、国民には隠しています。「竹嶋(現…鬱陵島)と松嶋(現…竹島⇨独島)が鳥取藩(因幡・伯耆の二国を領地とする)の領地ではない」ということは、日本の領土ではない!という事です。封建社会にあつては、土地はどこの大名のものか天領です。念のため幕府は松江藩にも聞いていますが、松江藩も関係ないという返事でした。

そこで幕府は外務省HPの記載にあるように「鬱陵島を日本領にしたわけではないので、ただ渡海を禁じればよい」と朝鮮との友好関係を尊重して、日本人の鬱陵島への渡海を禁止することを決定」します。同HPはその後「その一方で、竹島への渡海は禁止されませんでした。」と記載します。確かに、この時の幕府の渡海禁止文書には「竹嶋(鬱陵島)」という文言しかありません。しかし、鳥取藩が「竹嶋(鬱陵島)も松嶋(竹島⇨独島)も自国領地ではない」という回答をした上での幕府決定なのでから「日本人の鬱陵島への渡海を禁止することを決定」には、当然「竹島への渡海」禁止も含んでいたのです。

現に池内敏氏の「国境未満」『日本史研究』15年2月号

には、幕府と米子商人のやり取りについて、以下の
ような一級史料が紹介されています。

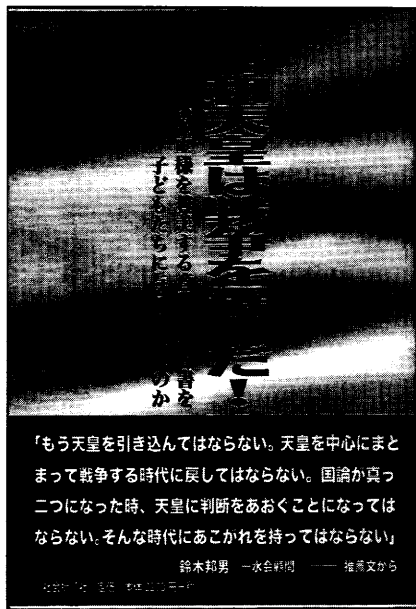
「次ニ御尋之趣、竹嶋・松嶋 両嶋 渡海禁制ニ
被為仰出候 以後ハ」(元文5(1740)年の文書)、
「私共儀、元禄年中 竹嶋・松嶋 両嶋之渡海禁制ニ
被仰出候以後ハ」(翌年の文書)

現在の日本政府(外務省)の言い草ときたら『廊下
を走るな』と書いてあるけど『下駄箱の所で走るな』
とは書いてないから、下駄箱の所で走ることは禁じ
られていない」と言ってる走り回る悪ガキと同レベル
!?

しかし、こうした「竹嶋に関する真実と日本政府
(外務省)のフェイク(嘘)主張」について、日本のマ
スメディアは絶対に取り上げません。なんとか、国
民が正しい判断を下せるように真実の情報を広く知
らせた方がいいのですが…。

増田都子さんの著書

『中学生マジに近現代史』 (1997年、ふきのとう書房)
『教育を破壊するのは誰だ!—足立十六中学事件』
(2004年、社会評論社)
『たたかう! 社会科教師』 (2008年、社会批評社)
『昭和天皇は戦争を選んだ!』 (2015年、社会批評社)



中谷成夫 『一万円札の福沢諭吉』の顛末記—回覧でまだお読みできます。

安川寿之輔

機関誌第4号21ページ以下の私の文章「中谷成夫
『一万円札の福沢諭吉』を差し上げます」は、予想以
上の反響を招きました。

元高校美術科教員の中谷さんが88歳で同書を出版。
直後にご本人が逝去されたため、ご息子が『マンガ・
まさかの福沢諭吉』執筆中の「雁屋哲宛に大量の寄贈をさ
れ、雁屋から杉田聡・安川分として20冊安川に送付。
そこで安川が2人分と回覧用の1冊を除いた17冊を、
『機関誌』への5000円(以上のカンパと引き換えに入
手を希望される方は、・申し出てください。」と提
案した。

もちろんその前に、同書において福沢が「隣国の
朝鮮や支那への侵略を熱烈に主張」した「強烈な帝
国主義者であり軍国主義者」であって、「結果的に昭
和20年の日本の敗北に至るアジア侵略へのレールを
敷いた人物」であって「一万円札の顔」に相応しく

ないという同書の内容を紹介した。

第4号は11月4日に発行し、6日に約850人に
向け宅急便で全国発送したら、8日と9日の2日足
らずで17冊の注文が届き満杯になりました。以上ま
では機関誌8ページに断ったように、安川の独断で
実行しました。そこで、仲間の雁屋哲から中谷さん
の著書を「カンパの代償として」配布することへの
異議申し立てがあり、独断を断念した安川は、急遽、
17人の申込者に、①カンパの送金は不要、すでに送
金された方には②カンパ額が20000円未満の方は、
送金者の機関誌購読料に(前納的に)繰り入れさせてい
ただく、③20000円を超す方には返金する旨を連
絡しました。

17人中9人は①、6人は②の方式で対処させてい
ただき、1万円のカンパをいただいたNさんKさん
の2人は、電話交渉の結果、返金不要と安川宅の(不

★創刊準備第3号76頁『日本の中国侵略の現場を歩く』と機関誌第4号34頁の『華北の万人坑と中国人強制連行』の著者・青木茂さんが、機関誌読者拡大のために、今年3月にかけて10人(半数が女性)もの方を紹介いただき、全員が創刊号以来のバックナンバーも購入されて、新しい読者になっていただきました。その影響力の凄さに驚いています。是非ぜひ皆さんも、一人でも二人でも新しい読者をご紹介ください。

★今年の秋、「中国友誼促進会」の招待で、杉田聡・安川と慶應大名誉教授の松村高夫さん(次号で紹介予定の「中帰連平和記念館」館長)の三人が、北京大などでの講演・講義をする話が持ち上がっています。その「友誼促進会」が中国での「中帰連」の窓口であることは、右の青木茂さんに教えられました。

★第4号の後記で政府の「明治150年」記念行事批判をメモしました。目下販売中の『社会評論』誌(春号)に小稿「明るくない明治」が「暗い昭和」に帰着した日本の近代史―「明治維新150年」批判」を寄稿したら、巻頭に掲載されました。店頭があれば、立ち読みしてやってください。

マンガ



まさかの

福澤諭吉

下

雁屋哲◆作

シュガー―佐藤◆画

朝鮮の
軍事クーデタを
画策し、中国との
戦争をあおる。
深まる福澤諭吉の
闇に迫る!!

遊幻舎

福沢の引退を求める三者合同講演会機関誌
『さようなら! 福沢諭吉』第5号

発行 行…2018年5月31日
発行世話人…安川寿之輔

〒464-0028

名古屋千種区東明町5-22-2

FAX(専用) 052-783-2291

E-mail: yasukawa@sa.starcat.ne.jp

印刷所…(株)東海共同印刷

名古屋市瑞穂区塩入町17-6

TEL…052-822-7281

FAX…052-822-3359